

平成25年2月14日

各位

会社名 株式会社ビューティガレージ
代表者名 代表取締役 CEO 野村 秀輝
(コード番号：3180 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之
(TEL. 03-5347-9512)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成25年2月14日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

	平成25年4月期 (予想)			平成24年4月期 (実績)		平成25年4月期 第2四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	5,244	100.0	120.7	4,346	100.0	2,531	100.0
営業利益	293	5.6	117.3	250	5.8	148	5.9
経常利益	296	5.6	117.4	252	5.8	147	5.8
当期(四半期)純利益	171	3.3	115.9	147	3.4	83	3.3
1株当たり 当期(四半期)純利益	158.73円			28,046.64円 (140.23円)		79.10円	
1株当たり配当金	0円00銭			0円00銭		—	

- (注) 1. 平成24年4月期(実績)及び平成25年4月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 平成25年4月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(95,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。なお当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出に関連する第三者割当増資分(最大20,000株)は含まれておりません。
3. 平成24年10月2日付で1株につき200株の株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標の数値は()内に記載しております。

平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL [http:// www.beautygarage.co.jp/](http://www.beautygarage.co.jp/)
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5347)9512
 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	2,531	—	148	—	147	—	83	—
24年4月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年4月期第2四半期 83百万円(—%) 24年4月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	79.10	—
24年4月期第2四半期	—	—

(注) 1. 平成24年4月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年4月期第2四半期及び平成25年4月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、平成25年4月期第2四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第2四半期	1,659	761	45.9
24年4月期	1,554	678	43.6

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 761百万円 24年4月期 678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	—	—	0.00	0.00
25年4月期	—	—	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,244	20.7	293	17.3	296	17.4	171	15.9	158.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年4月期2Q	1,058,000株	24年4月期	1,058,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年4月期2Q	—株	24年4月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年4月期2Q	1,058,000株	24年4月期2Q	—株
----------	------------	----------	----

(注) 1. 平成24年10月2日付で1株につき200株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2. 平成24年4月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
(4) 中長期的な会社の経営戦略	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などもあり、企業業績も改善し緩やかではあるものの回復の兆しが見えはじめました。しかしながら、欧州を中心とした金融不安や電力供給に対する懸念に加え、消費税率引き上げ法案が可決されたこともあり、先行きはいまだ不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましても消費者マインドの冷え込みから厳しい経済環境が続いており、業務に必要な商材をより安く賢く仕入れようという傾向が強まってきております。

そのような状況下、当社グループでは、最大の販路であるプロ向け理美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」における利便性の向上や低価格商品を中心とした品揃えの強化に最大限注力することで、新規顧客の開拓と既存顧客のリピー率向上を実現して参りました。

また、廉価でデザイン性の高いオリジナルブランド理美容機器の投入や業務用化粧品ラインナップの拡充を果たすことで、利益率の確保と販売量の拡大にも努めると共に、理美容・エステティックサロン等のビューティサロンの開業と経営を支援するワンストップ体制を活用することで総合受注の促進を図って参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は2,531,821千円、営業利益は148,539千円、経常利益は147,173千円、四半期純利益は83,685千円となっております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 物販事業

当事業において運営するプロ向け理美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」は、サービス開始から10年目を迎え15万を超える登録会員事業主数を有するまでに成長しました。また、オンラインショップにおける徹底したユーザビリティの改善を図るとともに、新自社物流センター構築による配送サービスの向上を実現した結果、当事業は堅調に推移しております。

この結果、当事業の売上高は1,962,879千円、セグメント利益は203,556千円となっております。

② 店舗設計事業

当社グループの総合力を活かすことで、従来受注案件の多くを占めていた小型案件や個店案件に加えて、ビューティサロンを展開するチェーン本部からの案件の獲得にも成功しました。

この結果、当事業の売上高は462,368千円、セグメント利益は17,990千円となっております。

③ その他周辺ソリューション事業

ビューティサロンの開業と経営に必要な各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市12ヶ所のショールームを通して提供することにより、不動産物件仲介サービスや集客支援サービス、eラーニング等を中心にビューティサロンに対する開業と経営支援事業の売上の向上に努めました。

この結果、当事業の売上高は106,572千円、セグメント利益は428千円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.1%増加し、1,517,022千円となりました。これは、主に商品の増加55,797千円及び現金及び預金の増加22,597千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて28.7%増加し、142,921千円となりました。これは、主に無形固定資産の増加13,635千円及び有形固定資産の増加12,669千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、822,524千円となりました。これは、主に賞与引当金の増加47,466千円があったものの、短期借入金の減少34,998千円及び未払法人税等の減少3,880千円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて42.7%増加し、75,501千円となりました。これは、主に長期借入金の増加25,776千円、資産除去債務の増加3,719千円及びポイント引当金の増加3,256千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて12.3%増加し、761,918千円となりました。これは、主に当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が83,685千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ24,197千円増加し、439,519千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、74,790千円となりました。これは、主に法人税等の支払額92,696千円、未払金の減少51,660千円及びたな卸資産の増加49,758千円があったものの、税金等調整前四半期純利益146,492千円の計上、売上債権の減少66,563千円及び前受金の増加35,421千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、34,051千円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出17,624千円及び、無形固定資産の取得による支出14,029千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、15,830千円となりました。これは、主に長期借入れによる収入70,000千円があったものの、長期借入金の返済による支出40,832千円、短期借入金の返済による支出34,998千円及び社債の償還による支出10,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期(平成25年4月期)につきましては、欧州の債務問題や長期化する円高等を背景とした景気の下振れ要因に加え、増税や景気の減速による消費者心理の冷え込みといった懸念材料もあり、国内景気や企業の経済活動にとって厳しい状況が続くと推測されます。

美容業界におきましても、顧客の来店サイクルの長期化や来店客数の減少、客単価の下落等、依然、ビューティサロンにとって厳しい経営環境が続いており、加えて電力供給に対する不安も完全には解消されていないこと等から、経営に直接的な影響を及ぼすことも予想されます。

しかしながら、当社グループにおきましては、顧客サロンのニーズに応えた商品ラインナップの大幅拡充とインターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」の利便性強化、そして開業と経営を支援できるワンストップソリューションサービスの拡充及び配達サービスの向上により、引き続き業績の拡大を目指して参ります。

これにより、当期(平成25年4月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高5,244,239千円(前年同期比 20.7%増)、営業利益293,935千円(同 17.3%増)、経常利益296,123千円(同 17.4%増)、当期純利益171,075千円(同 15.9%増)を見込んでおります。

(4) 中長期的な会社の経営戦略

当社は、ビューティサロンの開業と経営を支援することを目的として、プロ向け理美容商材インターネット通販サイトの「BEUATY GARAGE Online Shop」による物販事業を中心に様々なサービスを展開しております。

「BEUATY GARAGE Online Shop」においては、メーカーからの仕入商品に加え、当社が企画・開発したオリジナルブランド商品のラインナップを拡充し、現在では取扱商品数は30万点、登録会員事業主数は15万を超えるまでに成長いたしました。

理美容業界におけるITリテラシーが高まりつつあり、今後もさらに市場拡大が予測される中で、オンラインショップにおける徹底したユーザビリティの改善を図って参ります。

また、既存事業で蓄積された技術や開発力を活用し、新たなオリジナルブランド商品や新サービスの開発にも取り組み、ビューティサロンの開業と経営を支援するための総合力を更に高めて参ります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		444,619
売掛金		263,157
商品		618,720
仕掛品		22,740
その他		175,108
貸倒引当金		△7,324
流動資産合計		1,517,022
固定資産		
有形固定資産		36,965
無形固定資産		
ソフトウェア		22,147
のれん		3,708
その他		116
無形固定資産合計		25,971
投資その他の資産		79,985
固定資産合計		142,921
資産合計		1,659,943

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成24年10月31日)

負債の部

流動負債

買掛金	267,053
短期借入金	35,002
1年内返済予定の長期借入金	64,792
1年内償還予定の社債	20,000
未払法人税等	88,811
賞与引当金	64,796
製品保証引当金	15,495
受注損失引当金	995
その他	265,578
流動負債合計	822,524

固定負債

長期借入金	29,176
ポイント引当金	26,401
資産除去債務	9,731
その他	10,192
固定負債合計	75,501

負債合計	898,025
------	---------

純資産の部

株主資本

資本金	138,400
資本剰余金	89,667
利益剰余金	533,851
株主資本合計	761,918

純資産合計	761,918
-------	---------

負債純資産合計	1,659,943
---------	-----------

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
売上高	2,531,821
売上原価	1,599,173
売上総利益	932,647
販売費及び一般管理費	784,107
営業利益	148,539
営業外収益	
受取利息及び配当金	68
破損商品等弁償金	544
助成金収入	750
その他	779
営業外収益合計	2,142
営業外費用	
支払利息	728
為替差損	2,506
その他	274
営業外費用合計	3,508
経常利益	147,173
特別利益	
固定資産売却益	82
特別利益合計	82
特別損失	
固定資産除却損	763
特別損失合計	763
税金等調整前四半期純利益	146,492
法人税、住民税及び事業税	86,063
法人税等調整額	△23,255
法人税等合計	62,807
少数株主損益調整前四半期純利益	83,685
四半期純利益	83,685

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	83,685
四半期包括利益	83,685
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	83,685

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	146,492
減価償却費	11,274
のれん償却額	1,059
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,535
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,256
製品保証引当金の増減額(△は減少)	2,245
その他の引当金の増減額(△は減少)	48,199
受取利息及び受取配当金	△68
支払利息	728
有形固定資産除売却損益(△は益)	680
売上債権の増減額(△は増加)	66,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,758
仕入債務の増減額(△は減少)	226
未払金の増減額(△は減少)	△51,660
前受金の増減額(△は減少)	35,421
その他	△43,960
小計	168,165
利息及び配当金の受取額	81
利息及び保証料の支払額	△760
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△92,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,000
定期預金の払戻による収入	2,400
有形固定資産の取得による支出	△17,624
有形固定資産の売却による収入	82
無形固定資産の取得による支出	△14,029
敷金保証金の差入による支出	△2,100
その他	△780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△34,998
長期借入れによる収入	70,000
長期借入金の返済による支出	△40,832
社債の償還による支出	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	△711
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	24,197
現金及び現金同等物の期首残高	415,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	439,519

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,962,879	462,368	106,572	2,531,821	—	2,531,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,211	20,646	6,499	37,357	△37,357	—
計	1,973,090	483,015	113,072	2,569,179	△37,357	2,531,821
セグメント利益	203,556	17,990	428	221,976	△73,436	148,539

(注) 1. セグメント利益の調整額△73,436千円には、セグメント間取引消去5,112千円、未実現利益の調整額△430千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△78,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。